

はなまき市議会だより

花の風

もくじ

- 2 6月定例会の概要、議案審議
- 6 一般質問
- 12 常任委員会等の活動報告ほか
- 13 議会報告会
- 14 請願・意見書審査
- 15 政務活動費執行状況
- 16 ちよつと言、議会の動きほか

第84号

令和7年8月1日



議案審議

可決 令和7年度花巻市一般会計補正予算(第2号)

新花巻図書館整備の設計業務を委託する業者を選定するためのプロポーザル実施費用などに係る歳入歳出予算の補正で、総額に8億2308万5千円を追加し、予算の総額を590億2206万4千円とするもの。

質 疑

- 質問…図書館整備工事において、市内施工業者が応礼しやすくするため、指名競争入札を柔軟に活用すべきではないか。
答弁…設計段階ではまだ発注方式が確定していないが、地元業者でも受注できるよう配慮したい。
- 質問…新図書館の運営は民間活力の活用を視野に、設計業務のプロポーザルと並行して検討すべき。運営形態の決定時期を伺う。
答弁…過去の議会で指定管理の意見はなく、地元の文化や特色を守るためにも市直営で行くべきと考える。



反対討論

【久保田彰孝 議員】

図書館の移転整備事業について、建設場所が花巻駅前と総合花巻病院跡地に意見が分かれたまま議会で承認を求められたことを残念に思う。
 プロポーザル方式は大企業優先で、J V(※)にしても地元利益効果は低く、形だけの参加となる。

【羽山るみ子 議員】

新図書館建設場所について、パブリックコメントや市民説明会では、総合花巻病院跡地を希望する声が多かったと認識している。民意が無視され、市民の不信感が最大限になっている状況で、強引な進め方には賛同できない。

【本館憲一 議員】

新図書館建設予定地を、市当局はどういったプロセスを経て駅前に決めたのか、市民が納得できるよう、市長自ら説明責任を果たすべきである。75名の参加希望者だけの市民会議が全てだとする市の姿勢に疑問を感じる。

【伊藤盛幸 議員】

新図書館建設は、教育委員会の権限を履行せずに、市長主導で進められてきた。教育委員会と協議をするという手順を踏まないまま進めていくのは、越権行為である。

賛成討論

【佐藤峰樹 議員】

新花巻図書館整備基本計画は令和7年5月に決定した。また令和2年に開催した図書館ワークショップに参加した高校生は23歳になった。新図書館に対する参加者の盛り上がりを見事に今後に生かすべき。市民みんなで愛される図書館を育てていくという観点から賛成する。

【高橋修 議員】

令和2年の特別委員会報告は市民の求める声が反映されている。議会は時期を逸することなく提言すべきである。市民の多くが花巻駅前が良いと主張している。この予算を通し、同じ方向を向いて図書館の中身を議論するべきであり賛成する。

6月定例会 提出された21議案を可決

令和7年第2回花巻市議会定例会は5月30日開会、6月17日までの19日間の日程で開かれました。
 5月30日の議案審議では、令和7年度花巻市一般会計補正予算(第1号)を原案のとおり可決しました。
 6月2日、5日、6日の一般質問には15人が登壇し、市政課題について質問しました。
 6月10日の議案審議では、令和7年度花巻市一般会計補正予算(第2号)、災害用トイレカーの取得、新市建設計画の変更などの16議案を原案のとおり可決し、花巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例など3件の専決処分の承認と4件の報告がありました。
 最終日の6月17日には、訪問介護報酬の引下げ撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書を全会一致で可決しました。
 また、文教福祉常任委員会で審査した請願1件が採択となりました。
 主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

可決

令和7年度花巻市一般会計補正予算(第1号)

審議の様子は
こちら



(5月30日)



(6月10日)

商店街共同施設補修事業補助金の追加に係る歳入歳出予算の補正で、総額に2035万4千円を追加し、予算の総額を581億9897万9千円とするもの。

質 疑

- 質問…アーケードの老朽化に伴う改修または撤去を行うための調査だが、市として、アーケードの景観、市の中心市街地の在り方について伺う。
答弁…アーケードは上町商店街振興組合の所有物であり、所有者がどうしていくか決定することができない状況のため、まず点検調査をするというもの。今後の在り方については組合とお話していきたい。
- 質問…上町商店街のアーケード歩道を歩いてみたところ、タイルが剥がれており、視覚障がい者や車椅子利用者、高齢者の方々などがつまずいてしまうので、早急な改修が必要ではないか。
答弁…通行に著しい支障があると認められる部分は、早急に修繕などの対応をする。また、大きな損傷などを見つけた場合は、改めて設計などを行い対応していく。

【表紙写真について】

- | | |
|-------|--|
| タイトル | "Here Comes the Sun" |
| メッセージ | 広域公園の真っ暗なトンネルの出口、差し込む光に向かって拳をあげる4人。きっと彼らは感じているのでしょう。暗い闇があるから光が際立つことを。"Here comes the sun"――メロディが、耳元に聞こえてくるようでした。 |

※J V：特定建設工事共同企業体。大規模であって技術的難易度の高い工事、その他工事の規模、性格に照らし共同企業体による施工が必要と認められる一定規模以上の工事の施工を目的として結成する共同企業体のこと。

承認 新市建設計画の変更

合併特例債の発行期間が5年間延長されたことに伴い、公共施設整備などの財源として合併特例債の発行を可能とするため、計画期間を令和12年度まで延長しようとするほか、事業の追加等の変更を行おうとするもの。

質 疑

●質問・・・新市建設計画の主要事業601事業中、102の未着手事業があるが、令和12年度の新市建設計画期間終了後、未着手事業について理由を付しての説明、公表を考えているか。

答弁・・・特に合併特例債の利用状況や振り返っての事業の結果について取りまとめる必要があると認識している。



賛否が分かれた議案の審議結果

議案 44	花巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
議案 62	令和7年度花巻市一般会計補正予算（第2号）

会派名	明和会								はなまき 市民クラブ				緑の風			社民クラブ			日本共産党花巻 市議会議員団			会派に 所属しない	審議結果			
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山るみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇		佐々木精市	菅原ゆかり	
議案 44	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	承認	
議案 62	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。



(写真右から)
高橋修 議員
照井省三 議員
内館桂 副議長
藤原伸 議長

第101回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたる地方自治への功労に対し、藤原伸議長をはじめ内館桂副議長、照井省三議員、高橋修議員が在職10年以上として表彰されました。

全国市議会議長会から表彰

可決 花巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分

国民健康保険税の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る限度額と、低所得者に対する被保険者均等割額及び世帯別平均割額の減額措置に係る算定金額を引き上げるもの。

質 疑

●質問・・・影響を受ける世帯数と影響額は。

答弁・・・課税限度額引上げ世帯数は123世帯、261万5千円。軽減措置拡充による影響世帯は136世帯、264万1千円となる。

反対討論

【櫻井肇 議員】

高額所得の被保険者の賦課限度額を引き上げる内容だが、異常な物価高の中で必ずしも高額所得者とはいえない状況となってきた。低所得者の負担減は当然としても社会保障としての国保制度の再構築を国は行うべきである。

可決 災害用トイレカーの取得

災害時においても衛生的に利用できる快適なトイレ環境の整備を通じ、健康で安心な避難所運営を図ることを目的に本車両を3台導入しようとするもの。

質 疑

●質問・・・災害用トイレカーの排水処理として、くみ取りと直接排水があるようだが、汲み取りの場合、何回使用できるのか。

答弁・・・汚水タンクは1台当たり250Lで、100回から120回程度を想定している。

●質問・・・花巻市と災害協定を結んでいる自治体は宮城県塩釜市等があるが、例えば、災害用トイレカーの派遣も視野に入れ、協定も入れ替えし新たに協定を結ぶ考えはあるのか伺う。

答弁・・・災害時には協定締結先はもちろんのこと、支援要請のあった市町村へも派遣する。



写真はイメージです。

一般質問

A これまでの議員への答弁で、なぜ駅前が良いかということは申し上げている。市の職員もそう思っている。令和5年3月の立地適正化計画の改訂版作成に当たり、新花巻図書館の移転場所の取り

Q 新花巻図書館の建設場所の考えを変更した時期、平成28年6月までの答弁とそれ以降の答弁が大きく変わった。花巻市立地適正化計画も変更された。変更した都度、市民に説明することは、行政の責務だ。なぜ、説明しなかったのか伺う。

■新花巻図書館について



いとう せいこう 伊藤 盛幸 議員

合併特例債は充当率が95%、交付税措置率が70%と設定されている。手厚い財源措置が講じられた有利な起債であり、国が合併後のまちづくりを後押ししているものと認識している。後年度の財政負担に配慮しながら、活用を検討していく。

A

合併特例債を充当する事業の考え方について伺う。

Q

■新市建設計画について

扱いを、市から議員説明会で明確に説明をしなかったと受け止めたことについてはお詫び申し上げます。



てるい しょうざん 照井 省三 議員

女子野球の推進を通じてまちづくりや共生社会の実現に寄与する取り組みを進める。本市ゆかりの選手がメジャーリーグや日本のプロ野球で活躍している。富士大学野球部をはじめ花巻東高校の野球部・女子野球部の活躍は全国的に知られている。今後も全国や世界を舞台に活躍する選手を輩出し地域の活性化につながることを期待する。

A

■スポーツ(野球)振興による地域活性化・まちづくりについて

Q

スポーツ(野球)による地域活性化・まちづくりについて伺う。

A

市内における、引きこもりについての実態調査を行っているか。またその支援について伺う。

Q

障がい者福祉について



市では、国に対し備蓄米について、需給調整のために買入数量の拡充や、売渡を行うよう引き続き要望する。

消費者にとって米価が上がり過ぎていることは問題だが、米価が上がることによって生産者に還元され、再生産が可能になるという点が非常に重要であり、需給バランスが大事。

A

■米不足と価格高騰について

Q

自民党農政では、米価は市場任せだった。米の増産を将来にわたる安定供給と一体で取り組むべきと思う。市の施策を伺う。



くぼ たしょうこう 久保田彰孝 議員

Q

■加齢性難聴者への補聴器助成制度について

A

加齢性難聴による心身への影響をどのように認識しているのか、補聴器の助成制度を創設の考えはないか伺う。



コミュニケーションの低下による精神的負担の増大、仕事や社会参加への支障、認知症リスクの増加、高齢者の生活に及ぼす影響が大きいことから、早期発見が重要と認識している。補装具の支給制度の対象とならない方への助成については、国が取り組むべきものであり、制度の創設を期待している。

一般質問

6月定例会では、15人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和7年第2回花巻市議会定例会 一般質問一覧(登壇順)

伊藤 盛幸 議員 (緑 の 風)	① 新花巻図書館について ② 新市建設計画について
照井 省三 議員 (社民クラブ)	① 市の委託事業所における労働関係法令違反への対応について ② 地域のスポーツ(野球)振興について ③ 障がい者福祉について
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	① 米不足と価格高騰について ② 加齢性難聴について ③ 自衛隊への情報提供の除外申請について
高橋 修 議員 (明 和 会)	① タクシー事業者への支援について ② スクールバスの運行業務委託について ③ 観光振興について ④ 次期市長選挙について
本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	① 新花巻図書館整備について
似内 一弘 議員 (緑 の 風)	① 旧総合花巻病院跡地の活用について ② スポーツ推進計画について
阿部 一男 議員 (社民クラブ)	① 農業問題について ② 障がい者福祉の充実について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	① 新花巻図書館整備について ② 小規模校について ③ 観光支援について
横田 忍 議員 (明 和 会)	① 農業振興について ② 公共施設マネジメント計画について
羽山るみ子 議員 (はなまき市民クラブ)	① 公共施設予約システムについて ② 市民説明会について ③ 旧新興製作所跡地について ④ 双葉町の環境整備について
小森田郁也 議員 (緑 の 風)	① 消防団について ② 空き家対策について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	① 石鳥谷地域の4小学校における学校統廃合について ② スクールバス運行状況について ③ 精神障がい者保健福祉手帳の更新について
鹿討 康弘 議員 (緑 の 風)	① 総合花巻病院の運営及び医療体制の改善について ② 花巻市文化会館の運営体制について ③ 教育委員会と教育現場との関係性について
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	① ドクターヘリについて ② 花巻市のマスコットキャラクターについて
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	① 犯罪被害者支援について ② ヒアリングフレイル(加齢性難聴)予防の取組について

◆一般質問とは

議員が市政全般のことに関して、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告、説明を求めることです。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

◆質問時間は60分

花巻市議会では、答弁を含み制限時間60分以内で質問を行います。

◆発言の通告

質問する議員には、前もって質問内容を記した発言通告書の提出を義務付けています。通告とするのは、発言の順序や発言時間を整理し、議員に発言の機会を平等に与えることを保障するとともに、議事の能率的運用を促進するためです。



たかはし おさむ 議員

■花巻空港の新規路線の就航について

Q

青森、秋田、山形には羽田便があり、利便性が高まっている。当市も空港所在地として、声を上げるべきと考えるが、所見を伺う。

A

市として外国人観光客の誘客を増やすのであれば、羽田便や国際線就航空港との接続便の充実も必要だが、仙台空港から平泉などの観光地を見て、花巻温泉郷に宿泊していただき、北東北の広域観光の拠点としてPRすることが大事だと考えている。

Q

■次期市長選挙について

任期満了後の進退について伺う。

A

現在市政の諸課題について全力を尽くしている状況であり、現時点においては任期満了後について申し上げることはない。

■新図書館整備を駅前と決めた根拠について

Q

「新図書館の立地場所は駅前のJR所有地が最適」と判断した根拠を伺う。市民会議の結果でなく、市がどう考えたのか伺う。

A

あらゆる市民が利用できる図書館にするのと駅前を含めた市街地の活性化を当初から考えていた。そのような効果を求めるために駅橋上化との連携を考えたことも事実だが、橋上化するために図書館を駅前に建てるようにした事実は一切ない。市民会議の結果を最大限尊重して駅前と決めた。全てを精査した上で、総合的に判断し、



もとだて けんいち 議員

駅前に建設する結論に至った。

■教育委員会の新図書館基本計画立案への関わりについて

Q

基本計画案の表紙に教育委員会名が併記された。補助執行を生涯学習部に任せている教育委員会が立案にどのように関わってきたのかを伺う。

A

事務を補助執行している生涯学習部が教育委員会や教育委員会協議会において、教育委員会への数回の説明を行った上で意見を求めてきた。計画の内容のみならず、策定までの進め方に関しても意見を頂きながら検討や調整を加え、市民参画も行いながらこの度の基本計画に至った。



にしたない かずひろ 議員

■旧総合花巻病院跡地の活用について

Q

旧総合花巻病院跡地の活用方針について伺う。

A

旧総合花巻病院跡地は北東側が急傾斜地崩壊危険区域等に重なり、利用可能な平坦部が限定される。安全対策と地盤条件を精査したうえで、子育て支援複合施設や産後ケア施設等の公共施設整備の可能性を含め、土地利用素案をまとめ次第、市民意見を聴取して活用方針を決定する予定である。

■スポーツ推進計画について

Q

スポーツ推進計画の評価と次期計画策定方針について伺う。

A

現計画は新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯スポーツ実施率・全国大会出場件数・大規模大会入込者数の三指標が目標に達していない状況である。次期計画は国の第3期スポーツ基本計画と整合を図り、部活動の地域移行やDXの活用など社会的課題への対応を盛り込む予定であり、令和7年9月までに素案を作成し、市民参画を経て令和8年3月までに策定する予定である。



あべ かずお 議員

■農業問題について

Q

米価の値上がりおよびコメ離れについて市はどう見ているか。

A

米が高すぎるという声はあるが、米価が安く、再生産が難しい状況が続いていたことから生産者の所得確保、食料自給の観点からは大事。国の備蓄米の放出により、米価が徐々に下がることを期待している。市では県の生産目安の範囲内における最大限の作付けとなるよう農業者にお願いするほか、輸入に頼ることなく国産米を供給できる取り組みを国に要望していく。



■障がい者福祉の充実について

Q

ストーマ（※）用装具の災害に備えた保管事業およびオストメイト（※）の社会適応訓練事業に対する市の支援策を伺う。

A

市でも保管事業を実施したいと考えており、既に行っている自治体を参考とし、関係機関から助言をいただきながら実施に向けて進めていく。岩手県が日本オストミー協会に委託している社会適応訓練は、これまで実施してきたチラシ配布や市広報による周知のほか、来庁された対象者に個別に案内するなど情報提供していく。

■小規模校について

Q

花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針を優先とする取り組みになっていないか伺う。

A

「基本方針」は、学校統合ありきの実施計画ではなく、保護者や地域の方々々に考えていただくための方針で、仮に、少子化による児童生徒の減少が見込まれ、将来の教育環境が危惧される場合であっても、保護者や地域の方々から理解が得られないまま学校統合を進めることはない。



てるい めいこ 議員

■閑散期の観光支援について

Q

物価高騰等の影響による旅行控えが報じられている。総合計画にある「閑散期等における市内施設への誘客支援」の考えを伺う。

A

宿泊施設からは、本年1月から3月までの閑散期の実績は前年以上であること、宿泊単価が上がり売り上げが好調に推移していると聞いている。

花巻観光協会では、連泊割引や夏休みPR、冬の割引券の提供等を今年度も実施する予定であるため、市として新たな宿泊割引は考えていない。



よこた しのぶ 議員

■農業振興について

Q

令和7年産主食用米の生産目安について伺う。

A

生産目安の面積は6565haだが、本年3月時点の作付は6981haと超過した。

全国で生産目安を超えた作付けが行われると需給バランスが崩れ米価が下落することが危惧される。市としては需給調整と米価の安定を図ることが重要と考えており、生産目安を守るよう周知することと、国に備蓄米を活用して米価を安定させるよう要望していく。

■公共施設マネジメント計画について

Q

施設カルテ調査シートの活用について伺う。

A

公共施設の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的にわたる建物や設備等の修繕等のサイクルを把握し、計画的な修繕等の予算編成に活用している。人口減少や少子高齢化は、今後さらに進んでいくことが想定され、社会構造の変化は公共施設の利用需要の変化をもたらす。将来を見据え、より中長期的な財政運営を意識し、効率的な公共施設マネジメントに努める。



※ストーマ：手術によって体外に作られた便や尿の排泄口のこと。

※オストメイト：ストーマを造設した人



はやま 山るみ子 議員

■公共施設予約システムについて

現在の公共施設の予約方法には不満の声がある。今年導入予定の「新公共予約システム」の概要を伺う。

来年2月より運用開始予定の新システムは、現行の空き情報の確認と予約に加え、マイナンバーカードを利用した利用者登録、抽選の参加申し込みや抽選結果の通知、使用許可書の発行、キャッシュレス決済による利用料支払いがオンラインで可能。導入後当面は電話予約や窓口での紙ベースによる使用許可申請などもこれまでどおり受け付ける。

■市民説明会について



市政情報の提供として今後行う市民説明会について動画によるYouTube配信と後で視聴できるアーカイブ配信を行う考えはないか伺う。

特に市民の皆様への関心が高い、あるいは理解の浸透を図るべき制度事業などは動画を作成し配信している。市民から意見をいただく説明会等の配信は、参加者個人の特定につながる恐れがあり、十分なリスク対策と慎重な検討が必要。特に重要な施策などについて開催される議員説明会の配信を行うことは検討したい。

■空き家対策について

空家等管理活用支援法人指定の検討状況と空き家の予防策について伺う。

現状、市では空き家対策でマンパワー不足を認識していないが、全国的な傾向を踏まえ、空家等管理活用支援法人の指定について来年度からの次期空家等対策計画に盛り込むため準備を進めている。



こもり たふみや 議員

情報を市HPで周知している。

■消防団について

消防団員の現状と確保策及び負担軽減のため準中型免許等取得支援の考えはないか伺う。

市の消防団員は過去10年で減少しており、20代・30代の割合が減り、40代以上が増加している。



さくらい はじめ 議員

■石鳥谷4小学校統合について

4小学校統合の方針が示されたが、その理由、今後の進め方を伺う。

石鳥谷地域の各小学校児童数も減少の一途をたどっており、それぞれの小学校の保護者よりご意見やご質問をいただきながら将来的な小規模化へのメリット・デメリットを検討していただいた。今後各小学校PTA役員から選出した19名に小中一貫教育についての勉強会や先進地視察を行った上で、小中学校をこれまでどおりの6・3制の学校とするのか義務教育学校を含



む小中一貫校のどれがふさわしいかといった検討をしていただく。一定の方向性が定まったら、各小中学校の保護者全体に対して説明と協議を行い、了承いただいた場合は6コミュニティ単位ごとに地域の方々に対しての説明と協議を進め、ご判断いただきたい。

■スクールバスの運行状況について

石鳥谷4小学校におけるスクールバスの運行状況を伺う。

石鳥谷小学校では大瀬川、八日市の2路線、八重畑小学校では山屋・五大堂の路線、合計3路線を運行している。八幡小学校と新堀小学校においてはバス運行していない。



しいうち やすひろ 鹿討 康弘 議員

■総合花巻病院の経営改善の進捗、安全管理体制と救急対応の実効性に対する市の評価について伺う。

病床稼働率・入院患者数は改善傾向にある。外部人材・コンサル導入で再建を推進。救急は医師・看護師・事務の体制を維持し、転送連携の仕組みも確保。市民の不安には「地域医療連携 患者総合支援センター」の相談員が対応し、意見箱も活用。新経営陣以降、市との情報共有が進み、関係性も良好と認識している。

■教育委員会と教育現場との関係性について



（※）とコミュニティ・スクール（※）の運用状況、教育委員会と現場の認識差への対応を伺う。

架け橋期カリキュラムは園と小学校の連携を基軸に策定。学童クラブとの情報共有も推進し、育ちの連続性を支援したい。制度趣旨に反する対応の是正や認識の温度差解消に向け、会議や研修、実践例の共有を強化する。コミュニティ・スクールは全中学校区に導入済。地域参画を促進し、学校と地域の協働体制をさらに深めたい。



さ さ せい 佐々木 精市 議員

■ドクターヘリについて

ドクターヘリの要請から出動までの流れおよび消防署との連携について伺う。

要請は、通報の内容に72項目のキーワードが含まれる場合、または救急隊員が傷病者を観察し、より早く医師の治療が必要と判断した場合に行う。消防署との連携は、消防自動車が行き着陸可能な判断、砂埃飛散防止の散水や安全管理などを行い、着陸後は救急車内で医師が診察・処置後に空路又は陸路で医療機関へ搬送している。

■花巻市マスコットキャラクターについて

フラワールールちゃん、が市のマスコットキャラクターに公認された経緯と、今後の展開について伺う。

平成20年2月に花巻市青年会議所が市内高校生および大学生を対象にワークショップを開催し、同青年会議所が学生と共同で募集、審査を行いデザインが決定された。市は平成21年5月に「フラワールールちゃん」を公認キャラクターと決定した。今後、市はPRやイベント等に活用していく他、ホームページなどで周知していく。



県の条例が理念条例に留まることから、支援窓口の設置や見舞金の支給といった支援制度や犯罪被害者等支援条例を独自に制定する必要があると考えているところであり、犯罪被害者等支援の条例化、制度化について早急に検討して参りたいと考えている。



すがわら 管原 ゆかり 議員

■犯罪被害者支援について

令和6年4月に県の条例が施行されたが、市における条例化に向けた取り組みについて伺う。

高年齢の方々に加齢性難聴に関心を持っていただくとともに、周囲の方々にも理解が図られるよう正しい知識と予防対策について、広報やホームページ、啓発チラシを活用しながら周知に努める。「みんなの聴脳力チェックアプリ」の活用については、活用が有効であると考えられた場合には導入を検討する。



■ヒアリングフレイル（加齢性難聴）対策について

予防策の普及啓発と聴力検査アプリの活用について伺う。

※架け橋プログラム：5歳～小1の接続期に園と学校が連携し、教育の連続性を図る国の取組。
※コミュニティ・スクール：学校と地域が連携し、住民が学校運営に参画する制度。全中学校区で導入済み。



議会報告会「議員と話そう」を開催します

議会の報告と市民の皆様からご意見を伺う議会報告会を今年から「議員と話そう」と題して下記により開催いたします。

よりよい花巻とするため、市民の皆様の普段感じていることや考えていることなど、テーブルを囲んで議員と意見交換しましょう。

- (1) 日時 令和7年8月5日(火)・6日(水)・7日(木)・8日(金)
午後6時から(90分程度)
- (2) 内容 6月定例会の概要、常任委員会の活動報告、議員との意見交換(共通テーマに係るワークショップ) など

最新情報は
こちらから



【共通テーマ】「住み続けたいと思える花巻にするには」

※会場によっては共通テーマに替えて個別テーマを設定する場合があります。(個別テーマを設定している会場は市議会ホームページをご確認ください。)

月 日 曜	A 班	B 班	C 班	D 班
8 / 5 (火)	まなび学園	湯本振興センター	花北振興センター	花南振興センター
8 / 6 (水)	矢沢振興センター	花巻市文化会館	大瀬川振興センター	八幡振興センター
8 / 7 (木)	八重畑振興センター	内川目振興センター	亀ヶ森振興センター	好地振興センター
8 / 8 (金)	成島振興センター	浮田振興センター		
議 員	伊 藤 盛 幸	本 館 憲 一	佐 藤 現	高 橋 修
	若 柳 良 明	菅 原 ゆかり	佐 藤 峰 樹	照 井 明 子
	羽 山 るみ子	櫻 井 肇	阿 部 一 男	内 館 桂
	藤 根 清	小 原 保 信	似 内 一 弘	照 井 省 三
	及 川 恒 雄	鹿 討 康 弘	佐々木 精 市	伊 藤 忠 宏
	盛 岡 耕 市	横 田 忍	久保田 彰 孝	小森田 郁 也



どの会場でも参加できますので
お気軽にご来場ください。

常任委員会等の活動報告

総務常任委員会

- ◆ 5月26日(月)
* 協議「今後の活動について」
- ◆ 6月11日(水)
* 協議「今後の活動について」

産業建設常任委員会

- ◆ 6月12日(木)
* 所管事務調査「ウォーカブルなまちづくりについて」

議員報酬調査検討特別委員会

- ◆ 5月30日(金)
* 議員の報酬等について
- ◆ 6月17日(火)
* 議員の報酬等について

議会改革推進会議

- ◆ 6月13日(金)
* (1) 特別委員会の委員任期について

文教福祉常任委員会

- ◆ 6月11日(水)
* 第2号請願「訪問介護報酬の引下げ撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求めることについて」
▽審査結果・・・採択
- ◆ 6月18日(水)
* 所管事務調査「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる花巻市まちづくり条例について」



- ◆ 7月15日(火)
* 今後の活動方針について

議会運営委員会行政視察報告

5月9日に行政視察を実施しました。

テーマ「委員会付託について」

当市では、議案は委員会への付託を省略し、本会議で審議しています。議案を委員会に付託、審査してから本会議で審議する委員会付託について検討するため視察を行いました。

〇二戸市議会

条例、人事案件などほぼ全ての議案を付託しており、委員会には主幹以上の職員が出席、市長への質疑は本会議で行っています。付託により詳細な審議ができているとのことでした。

〇盛岡市議会

人事案件以外の議案を付託しており、付託により議案を深く掘り下げて審査することができているとのことでした。なお、委員会に所属しない議員は、同会派議員と情報共有を図っていました。



請願審査

6月定例会では、文教福祉常任委員会が1件の請願審査を行い、採択しました。

◆第2号請願（採択）

訪問介護報酬の引下げ撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求めることについて

審査において「全産業と比較しても低賃金で、事業所そのものが危機的状況にあり、現に市内の2事業所が廃止となっている」「訪問介護は大事な仕事だ」「訪問介護は高齢者の在宅生活を支える基盤である」「地域の現状がしっかり理解されていない」との意見がありました。採決の結果、全会一致で採択するべきと決しました。

※請願書の原文は市ホームページに掲載しています

意見書を提出

◆訪問介護報酬の引下げ撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

昨年4月に介護報酬の改定が実施され、介護報酬は1・59%引き上げられましたが、訪問介護の基本報酬は2・3%も引き下げられ、多くの事業所から不安の声が上がっています。訪問

介護は、とりわけ一人暮らしの高齢者をはじめ要介護者やその家族の生活を支える上で欠かせないサービスです。

厚生労働省は、基本報酬の引下げ理由として、「訪問介護の利益率が高い」ことを挙げています。これはヘルパーが効率的に訪問できる「集合住宅併設型」事業所や都市部の大手事業者が利益率の平均値を引き上げているものと推測されますが、厚生労働省の調査でも約4割の訪問介護事業所は赤字であり、1軒の訪問に車で数十分かけて移動している地方の実態からはかけ離れています。

2024年の介護事業者全体の倒産や休業・解散が、過去最多の784社に達しました。そのうち「訪問介護は529社と前年の427社から急増しています。調査した東京商工リサーチは「コスト高や介護人材不足に加えて、報酬のマイナス改定があり、事業継続が難しくなっている」と指摘しています。訪問介護事業所のほとんどが地域に密着した小規模・零細事業所で、介護報酬の引下げにより、訪問介護事業所の多くが経営難に直面しています。

いわての介護を良くする会などが、昨年5月に行った訪問介護事業所アンケートでは、介護報酬の引下げについて、94・3%が「納得できない」と回答。影響については「事業所の経営が苦しくなる」81・4%、「ヘルパーの意欲・モチベーションが下がる」71・4%、「ヘルパーの賃金改善が難しくなる」70・0%など、事業所運営に大きく関わる問題が浮き彫りになりました。

訪問介護の人手不足は深刻です。ホームヘルパーの有効求人倍率は2023年度で14・1倍と高水準です。さらに、2022年度介護従事者処遇状況等調査によれば、介護職員の賃金は全産業平均を月額7万円下回っています。政府は訪問介護の基本報酬を引き下げても、介護職員の処遇改善加算で補えるとしています。しかし、すでに加算を受けている事業所は基本報酬の引下げで減収となり、その他の加算も算定要件が厳しく、基本報酬の引下げ分を補えない事業所が出ています。

介護事業者の経営環境及び介護職員の処遇の改善を実現し、在宅介護の基盤を存続させるため、訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引上げを早急に行うよう求めます。

※意見書の原文は市ホームページに掲載しています

お詫びと訂正

花巻市議会だより第83号の6ページに記載している及川恒雄議員の一般質問「中山間地域等直接支払制度について」の答弁内容の一部に誤りがありました。お詫びし、訂正させていただきます。

（訂正前）

令和7年度を最後に3つの集落協定から活動を取り止める意向があったことから、

（訂正後）

令和6年度を最後に3つの集落協定から活動を取り止める意向があったことから、

令和6年度 花巻市議会政務活動費執行状況

花巻市議会では、「花巻市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。政務活動費の額は、花巻市議会の場合、議員一人当たり月額2万円で、毎年4月1日に在職する議員に対して、1年度分(24万円)が一括して交付されています。また、政務活動費の収支報告書の提出にあたっては、議会内の取り決めで、原則領収書をつけて報告することとしており、その内容についてはどなたでもご覧いただけます。花巻市議会が条例で定めている政務活動費を充てることができる項目については、下記のとおりです。また、花巻市議会では、政務活動費の使途の透明性を確保するために政務活動費の執行状況を市議会だよりおよび市ホームページへ掲載しています。

- 研究研修費・ 議員が研修会等を開催する(参加する)ために必要な経費【例：講師謝金、会場使用料、旅費等】
- 調査旅費・ 議員が行う調査研究活動のために必要な経費【例：交通費、宿泊費等】
- 資料作成費・ 議員の活動のために必要な資料の作成に要する経費【例：印刷製本代、事務機器購入・リース代等】
- 資料購入費・ 必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 広報費・ 議員活動や市の政策についてPRする経費【例：議員広報紙、報告書の印刷費等】
- 広聴費・ 住民から市への要望や意見を聴取するための会議等にかかる経費【例：会場費、茶菓子代等】
- 人件費・ 議員の調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費・ 活動のために必要な事務所の設置・管理に要する経費【例：事務所の賃借料、維持管理費等】
- その他の経費 上記以外の経費で議員が行う調査研究活動に必要な経費【例：事務連絡に要する切手代、事務消耗品】

※交付額を超えた執行額は自己負担です。これに満たない分は市に返還しています。

(単位:円)										
会派	議員名	交付額	執行額	内 訳						
				研究 研修費	調査旅費	資料 購入費	広報費	広聴費	事務所費	その他 の経費
明和会	及川 恒雄	240,000	237,331	1,000	99,381	83,292				53,658
	伊藤 忠宏	240,000	444,485		99,201	85,800	139,484		120,000	
	藤根 清	240,000	202,490	1,000	99,561	83,292				18,637
	小原 保信	240,000	265,135		95,035	82,100	88,000			
	横田 忍	240,000	108,746		51,146	57,600				
	盛岡 耕市	240,000	139,385	1,000	48,385	90,000				
	佐藤 峰樹	240,000	303,308	1,000	96,201	93,500	112,607			
	高橋 修	240,000	170,266	33,320	51,146	85,800				
市民クラブ	羽山るみ子	240,000	205,542	35,020	59,778	88,012				22,732
	佐藤 現	240,000	126,758		60,078	59,700				6,980
	内館 桂	240,000	229,645	5,660	59,778	62,616	88,550	1,730		11,311
	本館 憲一	240,000	240,678	27,700	59,778	96,000	57,200			
緑の風	小森田郁也	240,000	199,026	74,090		52,158	62,398	3,783		6,597
	鹿討 康弘	240,000	230,313	162,910		5,593	44,792			17,018
	似内 一弘	240,000	211,440	180,000		29,340	2,100			
	伊藤 盛幸	240,000	185,251	183,535						1,716
社民クラブ	照井 省三	240,000	163,600			42,000	121,600			
	若柳 良明	240,000	108,366	3,720		102,016				2,630
	阿部 一男	240,000	155,611	2,200		117,008		36,403		
市議会議員団	久保田彰孝	240,000	140,492			83,292	57,200			
	照井 明子	240,000	246,181			60,391	185,790			
	櫻井 肇	240,000	11,000			11,000				
会派を構成していない議員	佐々木精市	240,000	245,330	22,650	107,580	105,000				10,100
	(故)大原 健	240,000	0							
	菅原ゆかり	240,000	212,638		87,186	100,830				24,622
	藤原 伸	240,000	184,701		96,201	88,500				

※抜粋して掲載しています。詳細はホームページをご覧ください。

さ さ き じょうたろう
佐々木 丈太郎さん
(大迫高校2年)花巻市の未来へ
ちょっと一言。はしかわ しゅうじ
橋川 秀治さん
(西大通り)

魅力発信のために

花巻市は自然、文化、歴史が調和する魅力的な地域です。特に文化と歴史という観点からいえば、現代まで舞い継がれている早池峰神楽や400年以上続く花巻まつりなど心を奪われるものがたくさんあると思います。そんな花巻市ですが観光に訪れる人はあまり増加していないように感じます。花

巻市の活性化のためにはSNSでの情報発信が重要だと考えています。さらに花巻市は空港があるため、海外の観光客に向けての英語や他言語での発信もより効果的だと思います。花巻市に来られた方達に良い印象を持ってもらい活性化がさらに進むことを願います。

私が花巻に住み続けたい理由

職場の転勤で花巻に来て25年。異動話は断って来ました。理由は花巻の暮らしの心地良さにハマってしまったから。早朝から花の手入に精を出す市民、産直に並ぶ新鮮食材、きのこや山菜採り、ポタリング、スキー、温泉等を満喫できる環境が充実している花巻を離れられません。

職場の転勤で花巻に来て25年。異動話は断って来ました。理由は花巻の暮らしの心地良さにハマってしまったから。早朝から花の手入に精を出す市民、産直に並ぶ新鮮食材、きのこや山菜採り、ポタリング、スキー、温泉等を満喫できる環境が充実している花巻を離れられません。

議会の動き 5月～7月

- 5月8日 広聴特別委員会(第3回議会モニター会議)
15日 産業建設常任委員会、広聴特別委員会
26日 総務常任委員会、議会改革推進会議、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
27日 議会運営委員会
5月30日～6月17日 令和7年第2回定例会
30日 議会運営委員会、議員全員協議会、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会、広報特別委員会
6月10日 議会運営委員会
11日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
12日 産業建設常任委員会
13日 広聴特別委員会、議会改革推進会議、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
17日 議会運営委員会、議員全員協議会、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会
18日 文教福祉常任委員会
24日 広報特別委員会、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
7月4日 広聴特別委員会、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
7日 広報特別委員会
9日、10日、13日 花巻市議会議員報酬に関する市民説明会
15日 広報特別委員会、文教福祉常任委員会

議会傍聴にぜひお越しを！！

【6月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 59人

【9月定例会】

9月5日(金)開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598(直通)

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

【広報特別委員会】									
委員長 羽山るみ子									
副委員長 小原 保信									
委員 小森田 郁也									
鹿討 康弘									
及川 恒雄									
伊藤 忠宏									
佐々木 精市									
櫻井 肇									
阿部 一男									